

- 60年
- 4・8 母校入学式に会長出席
 - 4・13 第1回(通算第9回)役員会
 - 4・27 野球部OB会発会式に会長出席
 - 4・27 第2回(通算第10回)役員会
 - 5・20 会報3号を発行

- 5・20 総会案内の発送
- 特に新・直前会員には全員に会報と総会案内を送る
- 5・25 第3回(通算第11回)役員会
- 6・6 第4回(通算第12回)役員会
- 6・9 定期総会開催
- 7・6 第5回(通算第13回)役員会

本庄高校同窓会員各位

本庄高校同窓会会長 岡 祐 孝

総会開催御案内

明るい新緑の候となりました。会員の皆様にはお元気に充実した日々をお過ごしのこととお慶び申し上げます。さて本年も既に会報4号でお知らせ致しました通り下記の如く定期総会を開催し、スローガンにもありますように母校の発展に寄与すると共に会員相互の親睦の輪を拡げたいと思っております。昨年に引き続きまして母校で御指導戴きました恩師(井上恵、染野利七、関根みよ三先生)をお招き致し懐旧談に花を咲かせて頂きたいと計画致しました。お知らせの会員の方お誘い合せの上、御出席下さいますよう心よりお待ちしております。

日時 6月14日(土)午後3時30分
場所 埼玉グランドホテル(本庄駅南口)
内容 午後3時30分より総会
記念演奏会 パリトン独唱・浦野実成 オーボエ独奏・相川恵子 ピアノ伴奏・中原尚子
午後4時30分よりティーパーティー(無料)
午後5時より「恩師を囲んで」懇親会(会費3000円)

本高同窓会報

発行
本庄高校同窓会
会長 岡 祐 孝
事務所 本庄市銀座3-5-8
岡 病院 内

- 7・22 高校野球応援
- 7・25 60年版同窓会会員名簿発行
- 8・17 第6回(通算第14回)役員会
- 9・14 第7回(通算第15回)役員会
- 9・14 名簿作成委員会の解散式開催
- 9・28 母校柏樹祭に出席
- 10・5 第8回(通算第16回)役員会
- 10・11 内山栄一台東区長を囲む会開催、席上富田三郎氏(旧中4回卒)に東京支部長を委嘱
- 10・11 中高速路会開催
- 11・10 会報4号を発行
- 11・16 第9回(通算第17回)役員会
- 11・20 事業所別第一回懇親会開催
- 11・28 名簿の異動及び変更通知表を名簿購入者に郵送
- 11・23 終身会費払込用紙を名簿購入者、旧中・旧女卒業生で名簿未購入者に配布、協力をお願いする
- 12・14 第10回(通算第18回)役員会
- 12・27 年賀状発送始める
- 61年
- 1・21 新年会案内状発送
- 1・24 支部長会議開催の通知状発送
- 1・28 育英資金贈呈(3年7組小穴晴美さんへ)
- 2・1 第11回(通算第19回)役員会
- 2・15 昭和61年支部長会議開催

- 2・15 新年会開催
- 2・19 母校入助成金贈呈
- 3・1 第12回(通算第20回)役員会
- 3・11 全日制の新入会式開催
- 3・11 新入会役員の委嘱と懇親会開催
- 3・12 母校卒業式に出席
- 3・12 定時制の新入会式開催
- 3・12 定時制新入会員より入会金の納入
- 3・20 全日制新入会員より入会金の納入
- 3・22 野球部OB会総会に出席



同窓会長 岡 祐 孝



新緑の候会員の皆様にはご健勝にてお過ごしのことと拝察しお慶び申し上げます。会員各位には平素同窓会の運営に絶大なご協力を賜り、誠に有難く心から厚く御礼申し上げます。お陰様で、同窓会も念願の活性化が実を結び、地域別、事業所別の各支部組織の整備拡充と相まって、会員相互間に親睦の輪が拡がり、より一層緊密なコミュニケーションの進展が実現しつつあることはご同慶の至りであります。さて、この度本会発展の為に多大なご尽力を賜りました国谷敏朗校長先生が三月末日を以てご勇退に相成り、後任に高山晃先生が新校長としてご赴任なされました。ご両人共本高同窓会のOBの先生であります。新旧校長先生には引き続き、大所高所からのご指導ご支援をお願い申し上げます。愈々々々望の昭和六十一年度本庄高校同窓会総会も開催間近となりました。来る六月十四日の定期総会には、会員お誘い合せの上、多数ご出席下さい。昨年同様別記三名の恩師をご招待しております。ご来会の節、恩師と旧交を温め青春時代を語り合ってください。私達役員一同、協力一致、皆様に親しまれ愛される同窓会作り邁進すべく鋭意努力する心算であります。何卒倍旧のご協力をお願い申し上げます。

本 部 役 員

会長 岡 祐 孝
副会長 立川大作、竹並栄一郎、橋爪茂夫、関口一郎、吉田建治、松本敏一、高木敏子、杉山律子(教頭)岩田 淳、萩原盛三郎

会計 戸谷全児、江原清吉
監事 山本厚生、内野ヨシエ、顧問 塩原英雄、持田直次、(校長)高山 晃

昭和61年三月卒業 幹事一覽

クラス	氏 名	電話(留番)
1	長沼 大策	三三 三六五三
1	岡根八千代	二二 四六八四
2	佐々木正紀	二二 五〇五七
2	小沢 啓子	三三 三九六〇
2	中村美佐子	二二 二五八〇
3	柿沢 篤	四四 五三七五
3	岡田 里香	二二 四七九二
4	富岡 佳樹	二二 四七七七
4	服部志のぶ	七七 三五二五
5	新居 等	二二 三六八三
5	橋本絵美子	四四 三二四〇
6	浅見 暁	四四 二二三八
6	内田 操	四四 七三七七
7	嶋田 豊広	二二 四〇八九
7	山下 香織	二二 七〇四二
8	山本 公紀	二二 三三四七
8	武井 優子	四四 一七五五
9	大越 和男	二二 〇八九四
9	有留志津子	四四 三三〇五
定	齊藤 綾	二四 〇七九九
定	中久木 寿	三三 〇八二九



着任に

あたり

校長 高山 晃

立派な業績を残されて、今年で退職された前校長国谷敏朗先生の後任として、この四月一日付で着任した者です。前任者と同様、同窓の一人で、旧中20回卒です。歴史と伝統に輝く母校へ着任し、責任の重大さを強く感じています。市内に住み、母校を眺めていた時と違い、当事者となると、真剣にならざるを得ない。いくつかの課題もあり、少しずつ解決してゆきたい。

今年も多数の選ばれた生徒が入学してきました。進路希望調査によると大多数が進学希望者で、就職希望者もいます。高校は大学等の予備校でないことはいまでも

と、いう名が欲しい為という、軽い気持ちで、この学校へ通うことを決めました。通いだしてから、昼は仕事、夜は学校、自分で考えていた事よりも、簡単なことではありませんでした。特にテストの時など、学校から帰ってくる、疲れて眠くなるし、昼は仕事だし、テスト勉強をするのにも、決して楽なことではありません。そんな高校生活を振り返って、同年代の人より、卒業は二年遅れたけれど、高校卒業には変わりないし、普通の全日の高校へ通った人より早く

卒業生の声

高校生活を振り返って

60年度卒(定) 荻原 薫

普通定時制高校は四年間通うのだけれども、私の場合、全日の高校に通っていて、途中で退学してしまい、三年生から編入をしたので二年間、定時制に通いました。編入した理由は、ただ「卒業」

社会勉強がたかさんできたと思います。通いだした頃は、「勉強」と「仕事」を両立できるかどうかとても不安でしたがこの春、卒業することが出来て、とてもうれしく思っています。短い間でしたけれど、先生方、どうもありがとうございました。そしてクラスの皆さん、楽しい思い出ありがとうございました。

本庄市中央二一七五

卒業して

60年度卒(全) 宮関佳樹
私たちは昭和六十年度卒業生として本庄高校を卒業しました。

その前日行われた同窓会の懇親会に出席し、本部役員の方々が本庄市でも御活躍なさっている大変立派な方々で改めて本庄高校の偉大さがわかりました。ともに本庄高校を卒業できたことを誇りに思います。

そこで在校生の皆さんにお願いがあります。

本高生としてのプライドと目的意識をもち本庄高校の伝統を守ってください。

本庄市銀座一十一十五

出発に際して

60年度卒(全) 中村美佐子
私たち四百余名は、卒業式を境に、本庄高校の卒業生として、各々の道に向かって、果立って行きました。

人生の山場とも言う可き高校時代に、私たちが本庄高校で学び得たものは、学業のみならず、人間

形成においても重要なウェイトを占めていることと思います。とてもすれば、学業の結果のみに捉らわれ易い今日の頃ですが、自由という校風だったことで、自分自身の個性を生かすことや、自立性を養うなどといった、人間としての

教職員の異動

△転出▽

校長 国谷敏朗 退職
事務長 鈴木和夫 浦和第一女高

教諭 丸山道雄 本庄北高へ

高根信一 秩父東高へ

講師 須長正実 玉川工高へ

上原正和 本庄東中へ

(定時制)
教頭 手島 登 岩槻高へ

教諭 山本研作 〃

講師 渡辺和子 退職

斉藤紀一 〃

△転入▽

校長 高山 晃 樹野高から

事務長 柴崎文夫 児玉高から

教諭 高橋昌平 本庄北高から

大谷芳滋 児玉農工高から

講師 矢崎千絵・竹内忠昭 大沢博一・栗原忠昭

(定時制)
教頭 荻原基三郎 熊谷工高から

教諭 小林圭司 新採用

講師 内田千恵・前林利行 日野洋子

スローガン

1. 名誉ある歴史と伝統に輝く母校を愛し、母校の発展に寄与しよう。
1. 本高同窓会の旗の下に結集し、地域に香り高い文化の花を咲かせよう。
1. 人間関係を大切に、会員相互間に親睦の輪を上げよう。
1. 組織を整備強化し、機能的な連絡網を拡充して、同窓会の活性化を図ろう。
1. 建学の精神を尊重し、後輩の指導育成に努めよう。

新装オープン

ウェディングパレス
五州園

本庄市中央2-3-20・電(0495)22-5225(代)

大東開発株式会社

取締役社長 立川大作 (旧中9回)

本庄市南本町2661

TEL (0495) 21-6808

恩師の便り

今回は恩師のたよりを特集しました。昭和24年卒から昭和33年卒の同窓生を対象に十九名の恩師に近況をお訪ねしたところ快く御協力が得られましたのでなつかしいお便りを謹んで報告致します。

古曳保正

(昭25・28)

私が本庄高校から久喜高に転じたのは昭和二八年八月で、あれから既に三〇余年の歳月が経ち、私も早や八〇の歳を迎えました。幸い健康には恵まれ、毎日元気で庭の草花いじりや、街のそこそこを自転車で行きまわると自適の生活を楽しんでいます。又この五月には三度目の中国旅行に出かけます。会員各位のご健勝を祈ります。(浦和市根岸二一六ノ一〇)

堀越龍夫

(昭17・28・32・45)

「午前中トマト、ナス苗植えの整地、午後昼寝、バーバーバックの洋書を読む、スリリングの物語に感動する。6時にラジオで巨神戦を聞く、7時にテレビに切り換える、就寝前新潮45を読む。」

右は小生の或る日の日記の断片

高木 恂

(昭23・34)

昭和三四年本庄高校を退職、関東短期大学に転じましたが、同短大も去る三月停年退職しました。只今近代農業に即応した簿記書の発行のため執筆に追われています。永い教員生活を回顧するとき、本高定時制での満十年は本当に楽しい思い出に溢れています。当時の染野先生を始め諸先輩の健勝を祈ること切なるものがあります。(本庄市千代田二一六ノ二六)

佐野大二

(昭16・32)

昭和十六年本庄中学校に着任以来五十年三月、県立山口高校長退職を最後に、教職生活三十有余年の幕を閉じた。退職後の数年間は入退院の繰り返しであった。幸い最近では、女房などの付添いの許に小旅行なども出来るようになった。午前午後夫々四十分位の散歩と一ヶ月一度の病院の診療が此の頃の暮らしである。皆様、御健闘を。(鴻ヶ谷市本町三五一十六)

竹本禮三

(昭18・32)

同窓会の皆さん、元気で御活躍のこととお慶び申し上げます。お陰様で「一病息災」という現代人の

中主 厚

(昭16・37)

若葉の候となりましたが、皆々様には益々お元気にお過ごしのことと存じます。

さて、恩生退職して早や十三年。昨今は老人特有の諸病に悩まされ「健康であることの喜び」を羨みながら動作緩慢、頭脳鈍感で、平凡な追憶の日々を過しておられます。どうぞ皆々様生涯教育に関心を寄せられ、御健康に留意されて下さい。

(本庄市前原二丁目二十九)

増田正雄

(昭20・58)

三月二十五日小島のへんみ眼科の北へ転居しました。慌しい引越で感じたことは物凄くゴミと不要品の山の間に多くも三十七年余を過して来たものだという感嘆のしきでした。五十日近くもかかってやっと荷物は一応整理されたものの癖は尚未完成です。何かと忙しい日々ですが幸健康で毎朝八キロ程歩いています。五月十日。

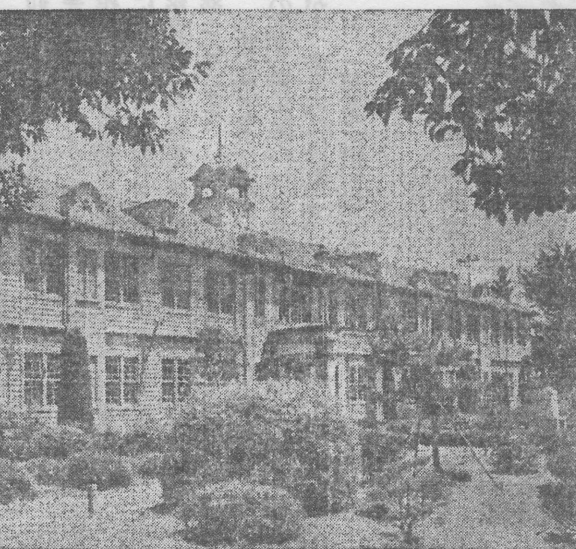
(本庄市小島一四一七)

中林清次

(昭26・33・38・58)

本庄を離れてから二十八年、昨年無事幸寿を迎えました。現在平々凡々の毎日を送っております。本高勤務になって間もなくの頃利根川から採って来た月見草(正しくは待宵草)を庭の隅で育てたのが始まりで、その子孫が今日まで連綿と続き、今年もやがてあの鮮やかな黄色の花が人々の眼を惹きつけてくれることでしょう。

(大宮市寿能町二丁目二〇一)



→ なつかしの旧制本中学校舎

恩師の便り

相川徳平

(昭20~47)

卒業後六十年、過去は茫々として遙かに遠く長く又短く、小生今年喜寿(七十七)を迎え、誠に感無量のものあり。この年齢を人生の二くぎりとして、五十年間掘り続けた筆にて著作の個展を開きたいと思っている。日暮れて道の遠きを覚えつつも……。(旧中一)(浦和市瀬ヶ崎二一四一二)

大木美登

(昭20~51)

同窓会の皆々様御無沙汰をして申しわけありません。私は深谷市の社会福祉協議会副会長と明戸支会の社会福祉や公民館等の役員もしていました。六十年健康が優れず一切の役職を退任し現在余世を楽しく送っていますから御安心下さい。

(深谷市沼尻三二番地)

高橋 甲

(昭21~52)

二十数年間の本高生活から行高へ、そして教職最後を北高でと、生涯の大半を本高関係の皆様との御世話になつて参りました。いま毎日家を過してあります

【つつき】

が、本庄とそれが故郷、本高こそわが母校の思いがより強い実感として随つて参りますと共に、本高同窓会の益々の御発展を心からお祈りしております。

(深谷市深谷町八の二)

野口久吉

(昭21~51)

○年齢相等の健康保持○奥様方対象の古典文学講座開講中。好評さ々々。(いい年をして)○自作の漢詩を懸軸にしたり、詩吟の先生に吟じてもいい悦に入たり。

詠ニ祇王、高永

朝ニ君寵馬、誇ニ花顔、夕対ニ秋風ニ乱ニ翠髪、黒衣纏、身ニ心似レ水ニ孤庵月冷、詠経閑

(群馬県多野郡新町二六七九)

正田喜一郎

(昭21~52)

本高を離れて十年めの春を迎えましたが、おかげさまで毎日を元気で過ごしております。この春は三十年前の三〇クラス会や、地元の皆様とのつどいに招かれて感激ひとしおでした。毎年、夏休みには本高の若い先生方と、長途のドライブ旅行を楽しみ、もう二十年も

続けています。同窓会のみますすの御発展をお祈りいたします。

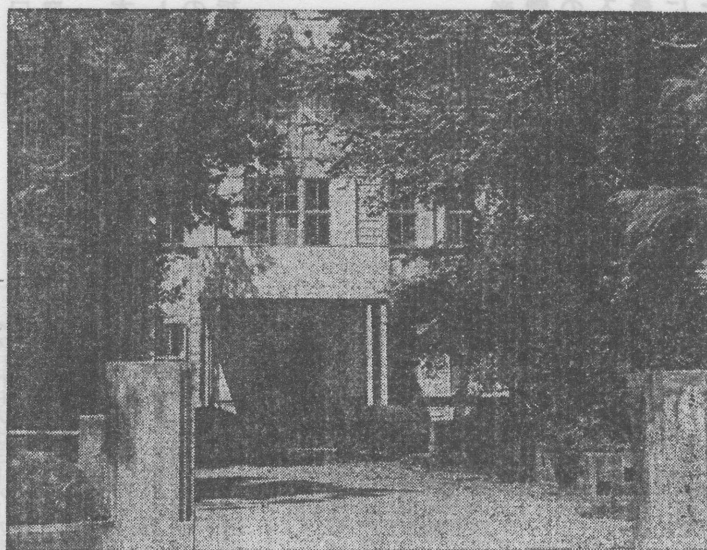
(深谷市大字中瀬三五九)

河野 坦

(昭19~55)

さいわい健康に恵まれ、毎日絵をかくて過しています。

← 旧本庄高女正門



富沢 温

(昭21~55)

新町から毎年十二、三名の中学生が本校にお世話になっている。だから同時に三十数名の本校生が

関口昌助

(昭23~55)

退職してより早六、七才を迎え、御陰様にて元気に暮らしています。現在九畝ばかりの土地を耕作しつつ、自家用野菜を家内と共に栽培している現況です。自然の移り変りに従い労働できる現在を楽しんでいます。

町史の編集もやっと終り、史料の不足と偏在に苦心し、不本意ながら、書き上げた次第です。

(美里町大字中里六三八)

上山隆哉

(昭24~59)

突然變つて来た脳梗塞6フラスクの計算に四苦八苦して泣いたあれから二年有半左半身不随の後遺症たつた半夢に不覚の涙完治しないと知ったが自分なりの生きざまを生きて行こう

り 春つらら日課とならし草むし (本庄市銀座一五二三)

← 支部長会議で挨拶する岡会長



進路報告

本庄高校進路部

三年生が卒業してから早くも二ヶ月が過ぎようとしています。大学に進学した人、就職した人々もそれぞれの学校や職場の雰囲気にも慣れ元気で精進していることと思います。ここで進路指導係の一人として進路状況の報告と共に、若干の感想を述べ報告にしたいと思います。

年々、大学や公務員の門が狭くなってきました。それでも自分なりの目標をきちんと持っており日常生活の中でコツコツ努力している生徒は、自分なりの目的は達成しています。それでは、六十年度の進路状況を報告します。

国立大学に進学した者は浪入

進学状況

国立大学
秋田 山形 群馬 埼玉
信州 千葉 東京学芸
公立大学
高崎経済2(国公計2)
私立大学
青山 秋田経済 亜細亜
麻布 大妻女子 神奈川
関東学院 関東学院 北里
学院 共立女子 国学院
京都産業 杏林 国際商
国士館 工学院 埼玉工

も含め二十一名、私立大学合格者は浪入を含めると三百二十一名、現役は八十八名です。短期大学は現役のみ六十七名です。就職の方は別紙の通り四十一名です。専門学校は六十一名です。その他、家事伝や浪人として勉強している生徒は百数十名もあります。

最後に、三年生になってもなかなか進路の方向がはっきりしない生徒が数多くいます。昨年の例でも三年の夏休みになってやっと勉強し始めたという生徒もおります。「わかっていない」がなかなか実行できないという弱さがあると思います。時すでに遅し—今後の教訓にしたいと思います。

商科 二松学舎 新潟薬科
文教 法政 北海道薬科
武蔵 武蔵野 武蔵野音
明治 明治学院 明星 名城
立命館 立教 立正
計三二

短大
群馬大 千葉大 東京大
京大 前橋市立 秋葉
女子 関東 共栄学
恵泉女学 国学院 国
際 駒沢 埼玉純真 産
能率 淑徳 湘北 白梅
女子 十文字学 昭和女
城西大 実践女子 女
子聖学院 女子栄 星
学 高崎 玉川学 鶴見
大学 東京農業 東京家政
大学 東京女学 東京成徳
東洋大 東洋女子 東海大
学 東横学 前橋育英
目白学 武蔵野女 新島学
園 富士 文京女子 立
正大学 フェリス女学院
(短大計84)

専修学校
浦和健記 大原健記 神田外
語 北関東造形美術 熊谷文
化服装 群馬歯科衛生 国際
文化美容 埼玉県立南高等
看護 埼玉県立北高等看護
埼玉県立看護教諭養成所 埼玉
医大付属医学技術 埼玉歯科衛
生 埼玉電子工学院 サンケ
イインタナショナルカレッジ
駿台電算 高崎スクールオブビ

就職状況

ジネス 高崎美術 中央工
校 千代田工科芸術 帝京高
等看護 東京医薬 東京薬
1 東京商科 東京コンビニ
ター 2 東京電子 東京デザ
ナー 東京ビジネスコンピ
ター 東京YMOA 東京Y
MOA 国際ホテル 東京法科学
院 東京保育 東洋公衆衛生
1 東武医学技術 トラルベジ

電子エンジニアリング ベルク
フルト サイデン 東芝
足利銀行 曙機械 富士電
機 トクミ電子 ポラ化粧
品 深谷日赤 永徳屋商事
美里ゴルフ場 東亜工業
婦人自衛官 郵政省 税務
埼玉県職員 国家公務員 2



新しい正門と並木道
60周年記念事業の一環として校庭整備費に同窓会
寄付金より700万円充当しました。

コンピュータ、通信システム、OA機器
エアロビクススタジオ

システム機器株式会社

山本道代ワークアウトスタジオ

代表取締役 山本 勝 美 (高6)

本庄市寿2-6-15 電(システム)22-5541・(スタジオ)24-2511

焼きたてのパン&ケーキ

本庄ニューグンイチ

本店工場 本庄市若泉3-7-3
TEL(0495)24-2115代



親愛なる同窓会員の皆様、日頃本会発展の為に絶大なるご協力
を賜り誠に有難うございます。私達役員一同は、就任以来同窓会
設立の主旨に則り、母校への寄与貢献と、金銭相互の親睦向上を
念頭し日夜努力致しております。さて、ご高卒の通り、会員各位
のご期待に添えて満足頂けるような成果を遂げると、財源の確
保が緊要不可欠な条件と相成ります。幾多の新規事業を完
璧に遂行しようと思つと必然的に相当の基礎財源を必要といた
します。本高同窓会では、年会費金千円也と、入金金、金五千円
也、それに終身会費金五万円と、特別寄付金、其の他で財源を賄
つております。終身会費制度は、昭和五十年の定期総会に於て議
決承認されました。現在迄に六百五十名の終身会費納入者があり
ます。昭和六十年度だけでも四百十五名の多数の会員よりご送金
頂きました。終身会費納入者は金五万円也のご提出で、後の年会
費は全く不要です。しかも、同窓会本部の終身会費納入者芳名簿
に、そのご氏名を永久に記載し、かつ会報に発表してご高志を顕
彰することとしております。その上、年二回の同窓会報の発送や
総会その他の連絡を優先的に致します。何卒、同窓会発展のため
終身会費納入を切にお願ひ申し上げます。

終身会費ご納入の際には左記口座にご入金下さい。
郵便局振込口座番号東京三二一八七〇二〇、又は埼玉銀行普
通預金口座番号本庄二八九一〇七七三。

終身会費

納入者芳名(その四)

卒業回数別・敬称略(昭60・51・61・3)

△旧中▽

1 柴崎亮 3 内田信夫 桑原
均 諸井興治 山田英雄 飯島良
清水尚 龜田卯作 4 上山茂
金井文雄 新井満次郎 田村光
田広典 飯塚栄 立石都米 安原

本高同窓会役員一同

- △旧女▽
- 1 田村幸代 2 伊藤百合子
3 吉川梅子 4 渡辺寿美子
勝岡栄子 石川てい 木村さかえ
中村婦美 品川セキ子 5 雲
栗静代 7 杉浦シマ 内野シヤ
ウ 小林マサ 8 須永達子 出
川一子 小暮蘭子 中島トウ 児
玉岩代 9 加藤千代子 高橋み
よ子 10 今井ケイ 内田とみ
水垣都子 加藤伊勢子 11 仁平
礼子 12 島崎弓 塩原乃乃 西
川照子 鹽田静子 13 平井常子
茂木孝 飯塚治子 龜井佳子
14 星野のぶ 河田登茂江 15
高田良 高橋敏子 有賀美代子
橋本花子 梅沢照子 16 大出か
ほる 武正和子 芝房子 17 日
向喜恵子 細野シツ代 境野田鶴
子 持田功子 谷ツヒロ子 円
岡マサ子 中山深雪 18 善理つ
ね子 根岸久子 19 荒井恵久
井田悦子 山崎美子 金井トミ
清水美代子 黒田陽子 秋谷美恵
子 20 久保田文子 宮本千代子
宮崎美代 21 加藤当子 森元
陽子 高野いと子 牛久保郷子
22 金井澄江 庄田三重子 吉岡
美智子 大野弘子 坂野和子 伊
藤元枝 23 上条房江 森田文子
福島章子
- △併中▽
- 1 神岡順次 近藤忠徳 宮田弘
臣 2 木村保明
- △女併・女高▽
- 1 榎井好子 下部登美子 山田節子
△定▽
- 1 松本敏一 2 吉田昭雄 3
三沢潤 4 小林哲夫 高月永
作 6 小野野幸作 7 森彰
栗原悦雄 竹内孝三 8 杉山則
- 子 9 細谷保夫 石川薫 19
豊田栄美 塩原盛 22 清水美広
△別科▽ 8 井草光子
△高校▽
- 1 久保田昭治 小内誠一郎 藤
野栄一 脇坂佳治 武正義雄 ト
部義典 黒沢信男 2 新井英一
田端義信 松本孝二 小島直
根岸桂朗 鈴木和夫 杉山喜一
郎 若林茂 浦野征房 3 飯島
康男 間庭芳江 村山美恵子 大
谷常久 吉岡厚江 三沢いく代
中井芳英 福島昌子 黒田浩次
龜田愛子 古田桂子 木村八重子
小野節子 田島弘 4 見目晴
哉 大沢健司 井上喜美雄 山口
敏裕 黒沢一徳 斎藤照子 高橋
利夫 宮崎郁吉 新井芳子 館田
文子 石渡初代 飯塚松美 今野
隆昭 青木秀弘 川路清子 内野
昭八郎 5 清水礼寿 大木美美
子 黒沢健 倉田佐代子 諏訪秀
一 坂本垣 町田厚太郎 荒川治
校 6 鈴木一清 吉井良子 大
場順子 須賀栄一 山本勝美 古
沢洋一 小野里里子 小林喜一郎
7 高橋宏 岸田正久 藤塚則子
白達節子 阿佐美扶美子 小林
司 土田美夫 福島広 野口幸子
木村久子 木村喜美枝 富井絹
子 飯島茂明 立野政雄 8 増
沢弘人 関根君子 川部鉄哉 中
野節子 古沢博 中山昭子 高橋
美恵子 9 長沼重行 形山将行
木田房子 大越靖子 積田徳司
田部井高久 大庭富士乃 村井
里志 沢渡恵美子 三田希良 金
井俊夫 荻野秀雄 高橋知子
10 山下精治 土谷洋子 富田好
勝 日向光子 柴崎起三雄
11 松田淳子 野口邦雄 小林明
- 子 湯浅和夫 萩原昭 関根義夫
12 能勢榮 木村正明 久保田
幸三郎 小暮美智枝 新井栄治
13 石田祐寛 久保保子 加納
弘子 14 吉田俊子 大沢洋子
小野英彦 宮部彰 丸山勇 富田
百合枝 15 須藤美恵子 野本勝
子 16 久保敦義 木村幸子 矢
沼公枝 渡部満子 17 永野史
代 塚越純子 尾崎志津子 小林
照行 飯島弘子 18 田中茂夫
19 手計京子 植原善雄 20 古
内由紀子 清水英夫 鈴木律子
門倉美 平野すみ子 新井邦洋
大家一男 21 荻野真一 磯野隆
堀川明 22 柳瀬敏江 23 八
代清恵 田島利江 神尾和子 坂
谷内弘美 江黒敏彦 垣島恵美子
24 宮本信夫 小野里信孝 豊
庭俊子 関口正美 高橋純一 田
島智二 高柳育行 25 鹿沼高志
島田義明 須藤直俊 26 田島
直樹 松崎隆良 27 五十嵐英治
28 平崎雅美 石川一 吉場
伸広 丸山淳子 31 萩原章司
吉田博一 園部光一 高野圭子
32 久保弘美 新島俊裕 34 神
小百合 内田美佐子 35 吉田真
典 森村和宏 36 下田浩之
- 特別寄付
- 佐々木久栄 一〇〇〇
高橋 宏 六〇〇
坂本 良全 二〇〇〇
平岡 万平 二〇〇
亀田 卯作 六〇〇
青木 薫 四〇〇
古茂 保正 一〇〇〇
内山 栄一 一〇〇〇
増井 輝子(一彦) 一〇〇〇
吉田 慶盛 一〇〇〇
埼玉ランドホテル 一〇〇〇
岡 一孝 一〇〇〇
堀原礼次郎 五〇〇